

2021年度 事務局だより

NO3 (通算 NO '11)
2021-3-20
一般社団法人
示現会

- 総会報告
- 現寿賞表彰
- 示現会展の日程

裏面 ○<特集> 理事の紹介と示現会での仕事
○<特集> 協賛社の紹介

定時総会が終了いたしました。今回は特にコロナ禍ということもあり、例年とは違った形式になりました。いつもは50人以上の出席者があり、支部長はじめ各地方からも大勢集まり、総会後は3階で、懇親会も開催され、各地の報告などで盛り上がりました。来年は、大勢の出席をいただいた総会ができるとういと思います。

総会報告

3月2日、示現会館2F に於いて定時総会が開会されました。今回はコロナ禍を懸念し「紙上定時会員総会」として実施いたしました。会員の皆様には議決権行使書面をお送りし、議決権の行使をしていただきました。当日は、議決権行使書面・253通。出席者13名で総会は成立いたしました



正面、右より「石橋会計主任」「錦織庶務主任」「成田理事長」「井上事務責任者」「佐藤事務責任者補佐」

総会の流れ

総会は定刻通り始まりました。一般社団法人としては、会員総会を実施することは規約で定められていることですので、コロナ禍という厳しい状況でもありましたが、議決権の行使を例年のとおり総会で行いました。

成田理事長から、総会の開催についての説明と挨拶があり、議題に入りました。

井上事務責任者から前年度の事業報告の概要が話されました。引き続き、錦織庶務主任より、今回の総会を司法書士より指導を受け、「議決権行使書面」での総会を実施することの説明がありました。

そのあと、個々の昨年度の事業の報告をいたしました。特に研究会など、コロナの状況を考慮しての取り組みなどを説明しました。それぞれの支部の方の取り組みも紹介しました。

決議事項として、石橋会計主任から決算についての説明があり、引き続き、大瀧監事より事業、会計の監査において適正である、という報告がなされました。

全ての議案が承認され、総会は無事終了しました。なお、この総会で示しました資料などは、ホームページ「事業報告」でご覧いただくことができます。

現寿賞の表彰

コロナ禍という、大変な時勢の中、健康に留意され、今日の長寿を迎えられました。しかも、精力的に絵画制作に取り組まれている姿勢に敬意を表し、絵を描く仲間としてともに喜びを分かち合いたいと思います。

88歳、卒寿を迎えられました元気制作に取り組む方々

<会員>	<準会員>	<会友>
長田泰助 隈丸千代ノ 渡邊英磨 後藤利夫 関根弘子 三輪照子 赤木満智子 澤田澄子 渡部勝雄 田中信 鈴木實 中村弘 吉田正治 大林儀和	持林英二郎 間宮貢 荻野照邦 長谷川恵 小菅智恵子 中村幸治郎 小玉誠司 石井邦光 篠原祐輔 三橋喬一郎 周天竜 碩信治 田中七三子 宇賀治徹男 中川澄子	宗さかえ 佐藤恒次 高味松子 浅見博三 鈴木仁郎 伊佐治則子 白井明 岩瀬順三 中島久輔 小野田誠一 数土清治

会友、準会員で米寿を迎えた方には特に敬意を表します。生涯現役という言葉があります。まさか現役です。これからの出品される方、また会に所属されている方にも大きな刺激を与えていただきました。

お名前漏れがありましたら至急事務局までご連絡ください
03-3824-9128

示現会展の日程

<搬入>
3月20日(土)
3月21日(日)
<入選発表>
3月26日(金)
ホームページ及び入選者に通知
<開会・表彰式>
3月31日(水)
*4月6日(休館日)
<閉会>
4月12日(月)2時

* 展覧会中は、示現会の事務所は美術館に置きます
03-6812-9921
<公募展案内ダイヤル>

さあ！示現会展が始まります



特集1

理事の紹介

示現会には、役員が18名おります。理事長、そして常務理事5名、理事9名、監事3名です。役員はそれぞれ示現会運営のための仕事を分担、責任者として職務に当たります。今回は示現会展を前に忙しく仕事を進める理事の方々を紹介します。



大淵繁樹
(担当・搬入、搬出、リーフレット、奨励展)

最近、映える(ばえる)という言葉を目にします、ひときわ美しく見える、他と比べて際立ってる、絵にも通ずるところがあります。



展示会場で何を描くか、マチエルの表現、色使い、など一段と素晴らしく見せる事が大切だと感じます。昨年は示現会展も中止になり皆さんも大変な一年を過ごしたと思います。

皆さんには絵を描く目的があり、大切な充電が出来た時間だったと思います。またはがゆい時だったでしょう。74回示現会展は皆さんの力を発揮出来る場です、よい絵を描き発表してください。

制作は作るものです。基本を大事に写生をし、小品(10号 20号 30号)をいくつか作り、制作に挑むと良いと思います。



土田恒夫
(担当・目録)
コロナについて

コロナという新しい厄介な病が広がりを見せてから一年余になり、世間の人々を不安と恐怖に貶めている。コロナが人に伝染するということからマスクをつけて密にならないように気を配りながら生活を送っている。

このような閉塞した現況の中で充実した生活を送るにはどのように暮らしたらよいのだろうか。

不自由なマイナス面ばかりに目を向けるのではなく、こんな時こそ自由なことに目を向けて知恵を絞って探してみると見ることではないかと思えます。

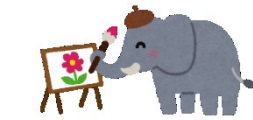
自分が今まで生きてきた過去を振り返り、やりたくてもできなかったことなどに思いをはせるのに良い時間になると思う。



小材啓治
(担当・支部)

昨年からの理事という重責を背負うことになりましたが、この一年間会の仕事が出来なかったと反省いたしております。

コロナ禍の中で上京がためらわれ参加できたのは一回だけで、後は文書での参加とさせていただきます。展示会の仕事もできず他の理事の方々や委員の方々に大変申し訳なく思っております。



武 敏夫
(担当・研究所所長、巡回展、賞)

「未来の星」

コロナの風も1年が過ぎようとしています。外出自粛、美術展の閉鎖、すべての行事と時間が止まりました。

アトリエに閉じこもり、創作を試みるも、燃える感動の無いキャンパスに絵筆が踊りません。3度の食事「何が食べたい」と問われて返す言葉にも何故か力ない返事に。

いつ迄続くことやら、半分諦めた頃、我が娘は、朝から晩まで絵ばかり描いていますので、どこか子供教室でなく絵画教室に入れたいと思いましたが、今の状況では動きが取れません。まだ6歳の女の子ですので成長期の大事な時と思い、自由にのびのびと絵の具に浸って、待ってもらっています。

もう一人、武蔵美の芸術学科に入学が決まり春から勉強ですが絵も大好きで、学科だけでなく絵も基礎から教えてくださいとのこと、即石膏デッサン、初めて持つ木炭に黒い瞳が輝いて遠い昔を思い出した一日でした。

いつまでも感動を忘れずに、私達も応援します。

渡邊良一

(担当・研修・名簿)

皆さん楽しみされていた写生会、写生懇親、作品研究会企画してありましたが、コロナ感染防止の観点から考慮すると出来るような状況でない今年も中止となりました。

来年は終息に至らなくともワクチン接種すれば安心して皆さんと一緒に楽しむことができます。来年の予定地は長野県(千曲川菜の花、斑尾スキー場から妙高を望む)か、もう一か所は富山県(剣岳)です。

・研修会はリモート研究会という名前に変えて計画されております。

リモート研究会の利点は作品を持ち運ぶことなくはがき大の写真を送るだけでUSB、SDカードで音声講評とA4サイズカラーコピーにコメント講評、写真だけの人はA4サイズカラーコピーのコメントを自宅で見聞きできます。ぜひご参加ください。

・74回展名簿係のバックヤード作業は入選者名簿作成、賞、昇格名簿作成と発送業務。大岩班長を長に25名のメンバーで校正、作成、発送を間違いないよう頑張ります。



ありがとうございます

第七十四回示現会展では、佳作賞として二十一点表彰されます。これらの賞は、右にあります十八の協賛社より提供された記念品が副賞として授与されます。それぞれ皆様もよくご存じの美術に関連した会社でもあります。長年にわたり、ご支援ご協力をいただいておりますこと、改めて感謝したいと思います。ありがとうございます。

株式会社 アートライン東京
大額 株式会社
株式会社 北村美術モデル紹介所
株式会社 クサカベ
株式会社 ターレンスジャパン
タマ・アート 株式会社
株式会社 東美
株式会社 東洋クロス
株式会社 名村大成堂
パニーコルアート 株式会社
ヴィックアート 株式会社
ペペオ・ジャポン 株式会社
ホルベイン画材 株式会社
松田油絵具 株式会社
株式会社 マルオカ工業
みなと工房
株式会社 ミューズ
六光社

今回紹介できませんでした理事の方は機会を見て紹介いたします。

宮定真弓理事(担当・会誌、名札、早見)
徳田則子理事(担当・奨励展、広報宣伝)
富山新治理事(病氣静養中)

なお、石橋俊博理事は会計担当して、今年度発行のN01で「新しい年を迎えて」の挨拶で省略します。

皆さんからの一言を募集中です。自粛生活のこと、絵のこと、地域の様子など、お知らせください。

メール先 佐藤祐治宛 1941sato@gmail.com

なお、示現会のホームページの「メールでのお問い合わせ」でも投稿できます

示現会ホームページ

